

「地域のつながりづくり」を強化 ～地域共生ステーションの活動～



夕日が浦（京丹後市網野町）



京丹後市

京都府

立岩（京丹後市丹後町）



小天橋（京丹後市久美浜町）

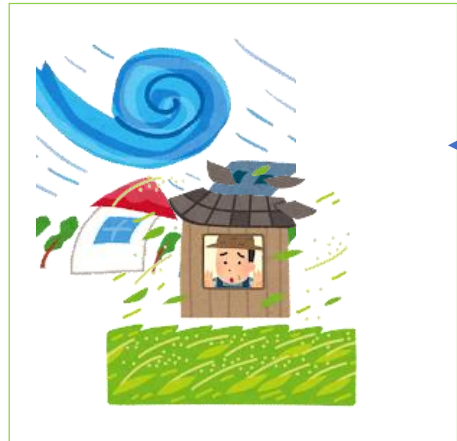


■ 関係機関と連携した地域づくりのイメージ



地域でのつながりづくり

地域内の多様な団体等が寄り集まって地域の将来について懇談する場を設け、自らの活動の中での地域課題を話し合い、情報を共有するほか対応策や役割分担による解決策を見いだして、地域自らの力で地域づくりの推進を考えていただく。これは、地域内の区や老人会、婦人会、消防団、子供会など、年齢性別関係なく、地域内で活動する団体ということで、女性や若い世代も入れたものとする。市民局と社協は連携してこういった場を作り、地域課題の掘り起こしや対応策などを検討していただき、地域自らが地域共生社会の実現に向け取り組んで行けるようフォローをする。



地域行事での連携

災害対応での連携

地域の見守り活動での連携

農産物産出の連携

相談等に対するフォロー

地域内での懇談の場を設置

市民局
地域公民館
社会福祉協議会

京丹後市役所

■ 地域共生ステーションの設置（京丹後市事業）

- 「地域共生ステーション」として、CSWの設置など、各機関の連携及び情報共有の機能を強化
- 身近な相談所として市民が気軽に相談できる体制を整備し、地域福祉の総合コーディネートを行う
- 地域コミュニティ組織（地域活動の担い手）と連携し、共助の基盤となる支えあいの場づくりを推進

第4次京丹後市地域福祉計画 基本目標2 安心・安全の仕組みづくり (2) 支えあいの体制づくりと機能の充実

地域福祉の課題

【社会背景】介護、子育て、生活困窮、ひきこもり、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーなど
→複雑化・複合化

市民 専門窓口との距離（物理的・精神的）

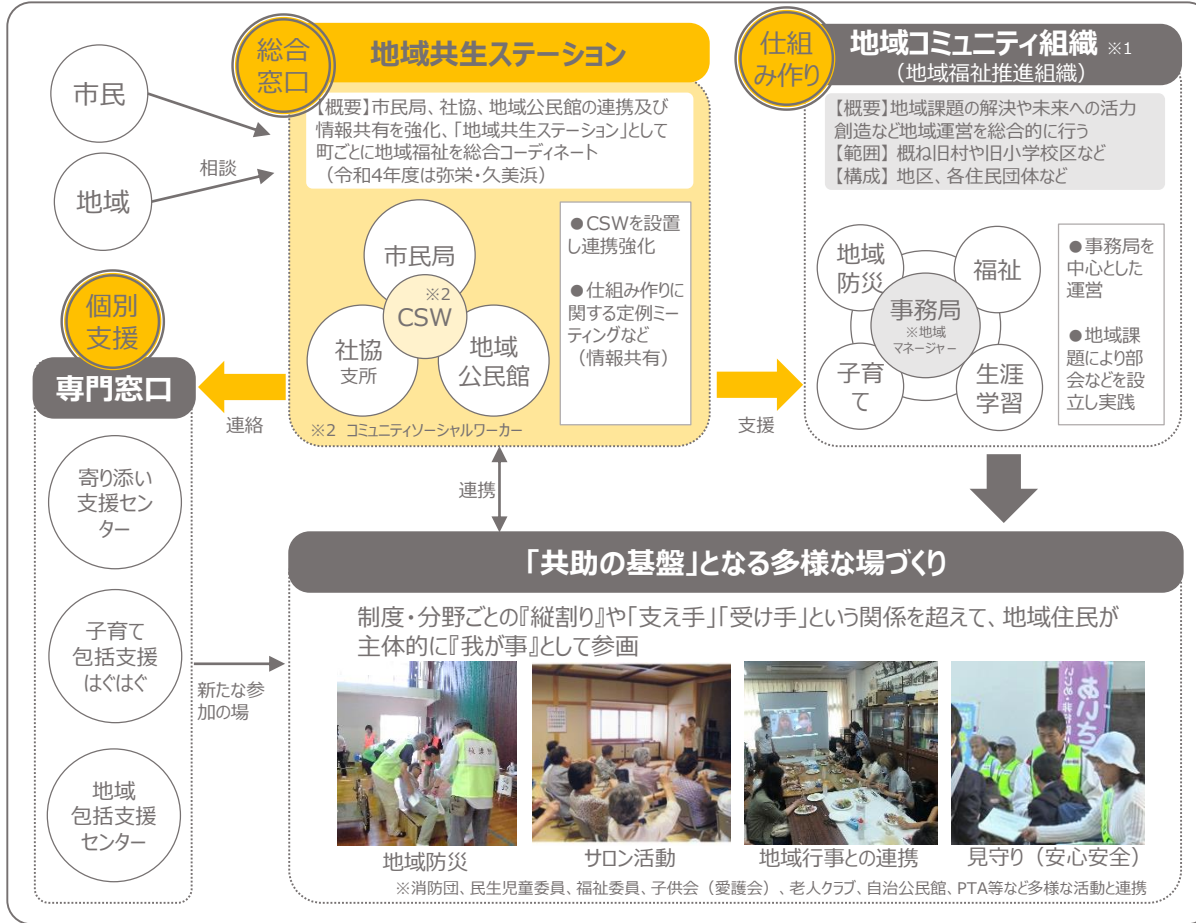
地域 ・担い手不足
・活動人口の減少
・つながりの希薄化

市・社協 ・地域とのつながり
・市と社協の連携
・好事例の仕組み化

国の動向

「地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律」が令和3年4月1日に施行。重層的支援体制整備事業が創設

地域づくりと連動！身近な相談所として地域福祉を総合コーディネート



目指す姿

○人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、「地域力」を強化

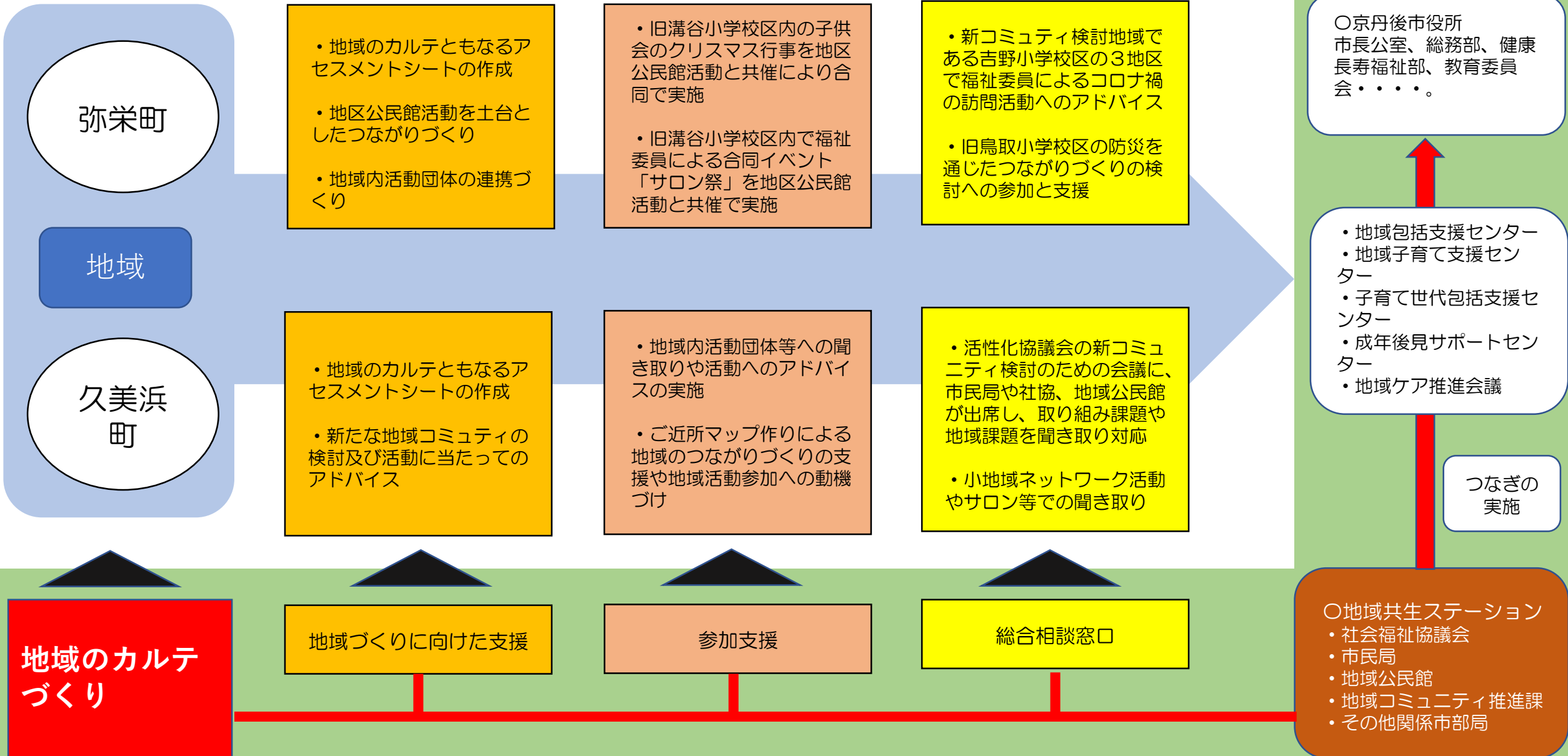
○地域で支え合い、地域でできることは地域で解決

○お互いに顔の見える関係を築くことで
・見守り
・防犯対策
・災害時の安否確認
・避難支援
の強化につながる

第4次京丹後市地域福祉計画「誰ひとり置き去りにしない「真の共生社会」の実現」

※1 人口減少や少子高齢化でこれまで地域課題の解決を担ってきた行政区や住民団体の機能低下が懸念される中、京丹後市では「新たな地域コミュニティ」と題して、概ね旧小学校の範囲を1つの区域とし、地域課題の解決を担う地域コミュニティ組織（全国的には地域運営組織といわれている）の立ち上げを推進している。令和7年度を目標に市内全域（現時点の想定数：36団体）での設立を目指している。

■地域共生ステーションの活動の方向性



地域のカルテづくり

地域づくりに向けた支援

参加支援

総合相談窓口

○地域共生ステーション
 ・社会福祉協議会
 ・市民局
 ・地域公民館
 ・地域コミュニティ推進課
 ・その他関係市部局

つながりの実施

・地域包括支援センター
 ・地域子育て支援センター
 ・子育て世代包括支援センター
 ・成年後見サポートセンター
 ・地域ケア推進会議

○京丹後市役所
 市長公室、総務部、健康長寿福祉部、教育委員会・・・。

・活性化協議会の新コミュニティ検討のための会議に、市民局や社協、地域公民館が出席し、取り組み課題や地域課題を聞き取り対応
 ・小地域ネットワーク活動やサロン等での聞き取り

・地域内活動団体等への聞き取りや活動へのアドバイスの実施
 ・ご近所マップ作りによる地域のつながりづくりの支援や地域活動参加への動機づけ

・地域のカルテともなるアセスメントシートの作成
 ・新たな地域コミュニティの検討及び活動に当たったのアドバイス

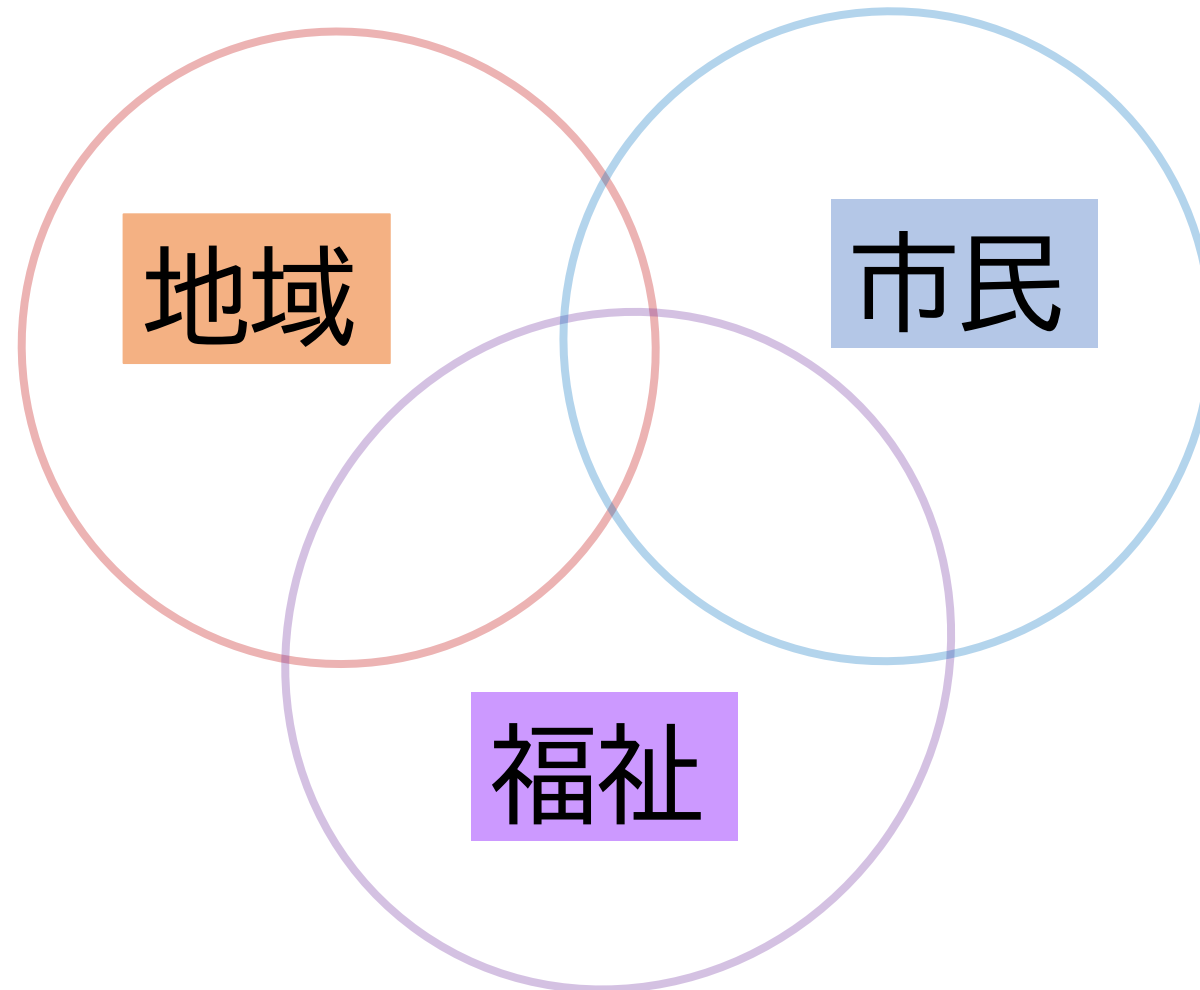
・新コミュニティ検討地域である吉野小学校区の3地区で福祉委員によるコロナ禍の訪問活動へのアドバイス
 ・旧鳥取小学校区の防災を通じたつながりづくりの検討への参加と支援

・旧溝谷小学校区内の子供会のクリスマス行事を地区公民館活動と共催により合同で実施
 ・旧溝谷小学校区内で福祉委員による合同イベント「サロン祭」を地区公民館活動と共催で実施

・地域のカルテともなるアセスメントシートの作成
 ・地区公民館活動を土台としたつながりづくり
 ・地域内活動団体の連携づくり

弥栄町
 地域
 久美浜町

地域共生ステーションの活動報告(弥栄町)



■弥栄町の状況

京丹後市の中では人口の一番少ない町で、5つの小学校区（旧村）からなっており、現在、市の推進する新たな地域コミュニティの進捗状況は以下の通りである。

○進捗状況

STEP 2 吉野校区、野間校区

STEP 1 鳥取校区

動きなし 溝谷校区、黒部校区

地域共生ステーションでは、市民局等と一緒にになり地域に入る中で、その進捗にあわせた活動を実施することとした。

■特徴的な活動

まだ新コミュニティの検討が進んでいない地域で、将来を見据えた「つながりづくり」の機運を醸成する活動を行うこととし、特に溝谷校区と黒部校区についてターゲットとした。

1. 区と地域内活動団体とのつながりづくりの強化を図る
2. つながりづくりの活動の財源を検討する
3. 校区内の連携活動の機運の醸成を図る

この3つの視点から、新コミュニティの基礎単位である小学校区内において、唯一の活動となっている地区公民館活動と連携したつながりづくりを検討することとした。

■溝谷小学校区での取り組み

溝谷地区公民館の役員さんと、また別途区長さんと地域内の福祉活動をされている福祉委員、そしてこども会の代表で合同会議を開催し意見交換を実施。その結果、①グラウンドゴルフの地区対抗の大会化、②多様なひとが参加できる「サロン祭」の開催、③そして子どもが少なく行事ができない地域を交えたクリスマス会の開催が決定。

■黒部小学校区での取り組み

黒部校区では、大きな集落がひとつで小さな集落が4つという構成になっており、福祉委員やこども会役員との合同会議の中では連携事業は難しいとのことから、地区公民館の実施する「紙芝居」について、各区の福祉委員を通じて参加の有無や足の確保の必要性について事前に聞き取り、結果的に3か所で実施することになった。

■「サロン祭（異世代交流会）」の様子



○手作り商品の販売



○3区の高齢者が喫茶コーナーで談笑



○スタッフみんなでそば打ち



○ふるさとの味「ばら寿司」づくり



○こども会父兄や中学生がお手伝い



○こどもと一緒にミニ麻雀教室

■ 「第1回溝谷地区クリスマス会」の様子



○風船パフォーマンスでふれあい



○中学生が自分たちで考え実施したクイズ大会 (O×ゲーム)



○父兄もトナカイで参加



○ビンゴを目指せ (ゲーム大会)



○中学生全員によるダンスパフォーマンスの披露



○子どもたちの目はマジックショーにくぎ付け

Merry Christmas



■取組の成果

今回、弥栄町では「つながりづくり」をテーマに取り組み、地域内の区や活動団体などが、連携して事業を検討するプロセス（過程）の中で、お互いの活動の大切さ、また地域の将来にとっての必要性など考える機会になった。

それぞれの取り組みにおいての区長さんなどの感想としては、サロン祭は初めての試みであり大変有意義であった。来年度については、3地区の代表が寄って計画的に検討した方がよいとか、クリスマス会については、たくさんの子どもの遊ぶ姿の見るのは気持ちがいい。こういった取り組みは保護者の協力と、やっけて行こうとする環境づくりが大切。今回は、地区公民館やこども会、そして3区の支援と父兄の協力のほか、中学生の主体的な運営によりできたもので、改めて地域のつながりづくりの大切さを実感したとの意見が出された。

地域共生ステーション

地域

- ・生活困窮者の増加
- ・役員のなり手不足
- ・活動担い手の減少
- ・つながりの希薄化

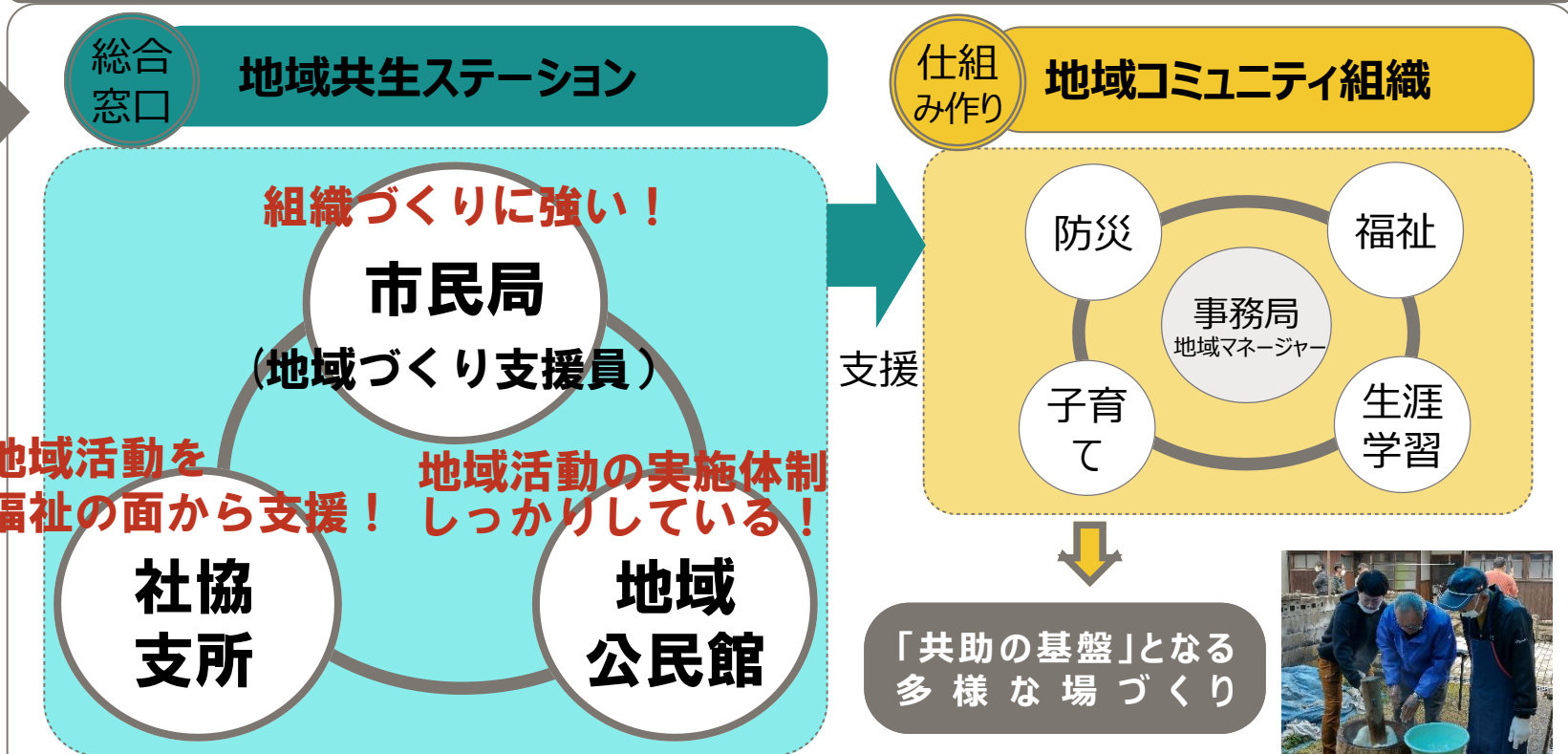
市

- ・市民局（地域づくり支援員）
- ・地域公民館
- ・地域コミュニティ推進課
- ・地域おこし協力隊
- ・ふるさと創生職員

社協

- ・支所
- ・福祉委員
- ・生活支援体制整備事業
- ・自立支援相談機能強化事業

地域づくりと連動！身近な相談所として地域福祉を総合コーディネート



サロン活動



防災



見守り



地域行事との連携



久美浜の地域自治組織

平成15年 久美浜町地域コミュニティ活性化検討委員会 設立

- ・久美浜町は他町と比べ小地域が多い中で、合併により市行政も広域化するという課題を受け設立
- ・6町合併後、地域を活性化するための役割や、自治組織の在り方等を検討

平成16年 久美浜町地域コミュニティ活性化検討委員会から 旧村単位での「活性化協議会」の設置を提言

- ・久美浜町の地域自治を発展させるため、また、合併により小集落が広域化する市行政に対応できるよう

平成17年 旧村単位で8つの活性化協議会が発足

- ・地域の課題や将来展望について協議し、地域住民に共通する問題等に対して力を合わせて解決し、住み良い地域をつくることが目的

現在 区長会・協議会・公民館の3つの組織を一つにした 新コミュニティの組織化

(参考:市長公室久美浜市民局作成資料「新コミュこれまでのこと、これからのこと」)

久美浜での取り組み① 地域調査

対象:71区

目的:「地域での人の動きや交流の場」「地域づくりの鍵は誰なのか何事業なのか」「地域の良さ」「日ごろ感じている生活課題」などを聴きとり、今後の地域支援や課題解決の介入時に役立たせる。

状況: 区役員、福祉委員、民生委員・児童委員などに協力いただき、全区聴き取ることができた。

今後: 情報の加筆を行い、地域の動きを網羅できるようにする。

参加支援のつなぎ先資料として活用する。

久美浜での取り組み② 区単位の活動支援・連携

■ 一区

十楽区

つなぎ：サロンおばちゃま会で市主催の在宅医療や介護などの懇談会

出前講座：自警団で防災＆ご近助マップづくり(避難訓練で活用)

土居区、新町区、西本町区

広報：地域ふれあいサロンや世代間交流をFacebookや広報紙で周知

■ 佐濃

安養寺区、佐野乙区

広報：老人会や女性の集まりをFacebookで周知

佐野乙区

相談：地域ふれあいサロンの立ち上げ

久美浜での取り組み③ 自治会単位の活動支援・連携

■ 一区

区長会

説明：福祉委員、共生ステーション、地域活動の提案

参加：区長と民生委員・児童委員との個別避難計画検討

まちづくりワークショップ

参画：本音トークで今後を考える会

■ 佐濃

教育福祉部会

参画：福祉講演会（①認知症の正しい理解 ②レクリエーション交流…）

⇒希望があれば、同内容の区ごとの開催を支援する。

連携：社協研修会「見守り活動とゴミ出し」と部会

認知症の理解と関わり、私たちにできること

第一回 認知症

11	12
1 2 3 4 5	1 2 3
6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10
13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17
20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24
27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31



さりげない見守りと声かけを 「ゴミ出し」をとおして考える



2019.10.14 実行委員会 事務局 事務局 電話 0772-68-0240
宮丹後市
米ごみの減らしましょう米

佐濃教育福祉部会

■ 方針

各集落の福祉委員の組織化を図り、地域の福祉向上のための活動を行う。また、少子化が進むなか、広域的な子育て及び交流を図る。

■ 部会構成

福祉委員 20名(17区の全福祉委員)

■ 活動内容

①孤独死を防ぐため、一人暮らし高齢者の安否確認

②シリーズ福祉講演会

③子育て世代の交流の輪(場)の拡大

④福祉団体等との連携した取り組み及び支援

今後、取り組んでいきたいこと

■ 連携支援

民生委員・児童委員と福祉委員

一人の民生委員・児童委員が、複数の区を担当されている場合あり
福祉委員による見守りや声かけなどで気づいたことを、民生委員・児童委員に伝える などの連携を模索

■ 連携希望

区・自治会

参画：まちづくりの話し合いに積極的に参加、活動提案

■ 調査活動を活かした事業展開

個人の困りごとを地域のかたと一緒に検討できるような場づくり